

## 令和元年 色染物質会 嵯峨嵐山紅葉散策

11月27日(水)、嵯峨のかくれた紅葉の名所を散策、そして、静かな鳥居本で夕食を楽しみました。

今回の参加も6名と少人数でしたが、JR嵯峨嵐山駅に集合、タクシーで大河内山荘を目指します。先ず驚いたのは平日にも拘わらず、人・人・人の波。外国人観光客には平日も休日もないので納得ですが、結局タクシーも進めず途中で降りることに。竹林の道を通り大河内山荘へ向かいました。

大河内山荘は時代劇俳優・大河内傳次郎(1898-1962)が、こつこつと創りあげた広大な庭園で、映画の出演料の大半をこの庭に注ぎ込んだといわれています。菓子と抹茶を楽しんだ後、紅葉とともに、京都市内は勿論、比叡山・大文字山までの展望を満喫しました。

次の宝篋院(ほうきょういん)に向かう道すがら、常寂光寺、落柿舎、二尊院の門前を通りましたが、何れにも「紅葉見頃」との案内があり、中を覗くと素晴らしい紅葉が。

宝篋院は竹林や苔に四季折々の花が映える、風情満点の庭園が美しい臨濟宗の寺院で、入口から門をくぐるとまっすぐな石畳の道があり、その両側の紅葉のトンネルと、辺り一面が黄金色や赤色の紅葉に包まれる様子に圧倒されました。

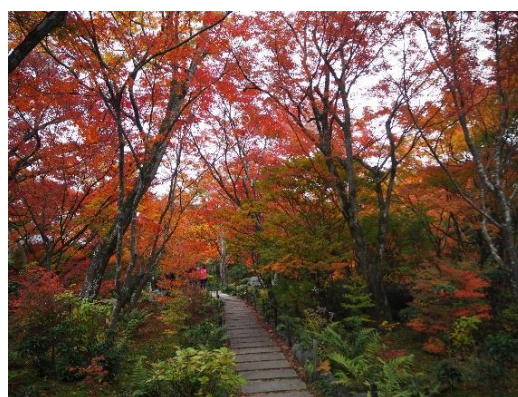
その後、宝篋院近くの喫茶店で店主の老夫婦と昔話に花を咲かせ暫し休憩。

夕食はそこから坂道を上ること20分、鳥居本遊山へ。この辺りまで来るとさすがに人気も少なくなります。日本料理をベースにフレンチの要素を組み合わせた、彩り豊かな京創作の料理に舌鼓をうちました。

曇り空ではありましたがこの時期にしては暖かく、皆さん一枚上着を脱いでの散策でした。



大河内山荘にて 左より 小林、角野、佐藤、田村、松岡、犬伏 (敬称略)



(色染昭 48 年卒 犬伏康郎)